

令和8年度

# 教育行政執行方針

～「厚沢部らしさ」を未来へつなぎ、  
人が輝く教育の実現～

厚沢部町教育委員会

## 目次

1	はじめに .....	1
2	学校教育の推進：5つの柱 .....	2
	（1）確かな学力の育成～「文房具」としてのICTと探究～ .....	2
	（2）豊かな人間性と健やかな体の育成～受容と承認、そして健康～ ..	3
	（3）信頼される学校づくり～働き方改革とチーム学校～ .....	4
	（4）グローバル社会に対応した教育～世界とつながる厚沢部～ .....	5
	（5）教育環境の整備・充実～安全で持続可能な学びの場～ .....	6
3	社会教育の推進：5つの柱 .....	7
	（1）青少年の健全育成～地域で見守り、育む～ .....	7
	（2）生涯学習基盤の強化～誰もが先生、誰もが生徒～ .....	7
	（3）芸術文化活動の充実～心に潤いと感動を～ .....	8
	（4）生涯スポーツの振興～笑顔と健康の輪～ .....	8
	（5）文化財の保存・整備～郷土の宝を未来へ～ .....	9
4	むすびに .....	10

# 1 はじめに

令和 8 年第 1 回厚沢部町議会定例会の開会にあたり、教育行政執行の方針を申し上げます。

厚沢部の豊かな森と清流、そして先人たちが築き上げてきた歴史と文化。これらは、子どもたちにとってかけがえのない「学びの土壌」です。昨年度、学校現場からは「子どもたちの笑顔が増えた」という報告とともに、「教職員が子どもと向き合う時間をどう確保するか」という切実な課題も寄せられました。教育の質を決定づけるのは、最終的には「人」です。ICT や新しい校舎といった「環境」は、そこで学ぶ子どもたち、そして、彼らを支える教職員や地域の方々が輝いてこそ、初めて意味を成します。

本年度は、昨年度の方針を継承・発展させつつ、「人（教職員・保護者・地域）のウェルビーイング<sup>1</sup>（幸福）」を土台に、子どもたちの「自ら学ぶ力」と「郷土への誇り」を育む教育を、学校教育・社会教育の両輪でバランスよく推進してまいります。

---

<sup>1</sup> ウェルビーイング（Well-being）：肉体的・精神的に健康な状態であるだけでなく、社会的・経済的に良好な状態で満たされている広い意味での幸福のこと。瞬間的な幸せではなく、持続的な幸せを意味する。

## 2 学校教育の推進:5つの柱

本年度は、これまでの「一斉に揃える教育」から「一人ひとりの個性を伸ばす教育」への転換を、以下の5つの柱で推進します。

### (1) 確かな学力の育成～「文房具」としてのICTと探究～

GIGA スクール構想のその先へ、ICT を日常の道具として使いこなし、自ら問いを立てて学ぶ力を育てます。

具体的には、AI ドリルや日々の学習記録であるスタディ・ログを活用し、子ども一人ひとりの理解度やペースに合わせた「自由進度学習」を推進することで、「個別最適な学び」を定着させてまいります。この取組においては、習熟に時間を要する子どもへの支援だけでなく、特定分野において特異な才能を有する子どもに対しても、発展的な学習機会の提供や学習進度の弾力的な運用など、その能力を伸ばす柔軟な対応を行い、多様な学習ニーズに応える包摂的な教育を実現してまいります。

また、館小学校の実践をモデルに、全町で自ら課題を見つけ、解決する力を育む、「厚沢部型探究学習（PBL）」を展開いたします。特産品であるメイクインや豊かな自然環境を教材とし、教科横断的な視点、科学・技術・芸術などを統合したSTEAM教育の手法を取り入れることで、論理的思考力を養います。

これらの取組を通じ、「やらされる勉強」から「自ら掴み取る学び」への転換を実現してまいります。

## (2) 豊かな人間性と健やかな体の育成～受容と承認、そして健康～

子どもたちの心の安定を最優先し、多様な体験を通じて豊かな心と健やかな体を育みます。

まず、生徒指導においては、不登校対策として厚沢部中学校で成果を上げている「受容と承認」のアプローチを、小中学校全体の共通認識といたします。特に、子どもたちのメンタルヘルス対策として、SC(スクールカウンセラー)との連携を強化し、早期発見・早期支援の体制を整えます。また、教職員の無意識の思い込み、いわゆるアンコンシャス・バイアスへの気づきを促す研修を実施し、すべての子どもが「自分は大切にされている」と感じられる居場所づくりに努めてまいります。

さらに、いじめ防止につきましては、予防的アプローチとして「いじめが起きにくい学級風土づくり」に重点を置き、道徳教育やSEL(社会性と情動の学習)を通じて、子どもたち自身が互いの違いを認め合い、いじめを許さない集団規範を育む取組を推進いたします。いじめの早期発見のため、定期的なアンケートや教育相談の充実を図り、発見した場合は「いじめ防止基本方針」に基

づき組織的に対応してまいります。

あわせて、館小学校での小学生留学の受け入れを継続するとともに、鶉小学校との統合により一つとなった厚沢部小学校において、互いの良さを認め合い、高め合う中で、子どもたちが多様な価値観に触れ、尊重し合う心を育ててまいります。

健康面におきましても、地場産品を活用した給食の提供や農業体験学習を通じ、食への感謝の心を育むとともに、健やかな体づくりを推進してまいります。

### (3) 信頼される学校づくり～働き方改革とチーム学校～

教育の質の維持・向上のため、教職員が健康で生き生きと働ける環境を整えます。

教職員の働き方改革、いわゆるデジタル技術を活用した業務効率化である校務 DX については、クラウド型校務支援システムのフル活用やペーパーレス化、会議の精選を断行いたします。これにより捻出された時間は、子どもたちへの指導や授業準備、そして教職員自身の休息へと還元いたします。あわせて、不適切な指導の防止に向けた取組として、「教職員のための生徒指導ガイドライン」の周知徹底を図り、体罰や暴言等によらない効果的な指導方法についての研修を

定期的に実施いたします。教職員が心身ともに健康で余裕を持って子どもたちと向き合える環境こそが、適切な指導の基盤であるとの認識のもと、組織的なサポート体制を構築してまいります。

また、学校運営協議会を核とした「地域とともにある学校づくり」を推進するため、地域の達人が授業に関わるなど、保護者や地域住民の皆様が「当事者」として学校運営に参画する仕組みを実質化させてまいります。

こうした取組により、教職員の時間外勤務を縮減し、子どもと向き合う時間を増やすことを改革の大きな柱として取り組んでまいります。

#### （４）グローバル社会に対応した教育～世界とつながる厚沢部～

予測困難な未来を生き抜くため、広い視野とコミュニケーション能力を養います。

具体的には、ALT（外国語指導助手）との日常的な交流に加え、ICTを活用して海外の学校等とつながるオンライン交流を実施し、教室にいながらにして、「生きた英語力」を育むことができる環境を整えます。

同時に、異なる文化や背景を持つ人々を尊重し、共に生きる「多文化共生の心（インクルーシブな心）」を、日々の学校生活全体を通じて涵養してまいります。

## (5) 教育環境の整備・充実～安全で持続可能な学びの場～

幼児教育と小学校教育の円滑な接続を図る「幼保小の架け橋プログラム」を推進します。こども園と小学校の教職員が相互に授業参観や交流研修を行い、幼児期の「遊びを通した学び」と小学校の「教科学習」を滑らかにつなぐカリキュラムを編成することで、いわゆる「小1プロブレム」の解消と、子どもたちの学びの連続性を確保してまいります。

また、小中一貫教育のこれまでの成果を基盤とし、9年間の一貫した指導体制の強化など、義務教育学校への移行によるメリットを最大限に活かし、より質の高い教育環境を実現するため、「義務教育学校整備基本構想・基本計画」に基づき、着実に歩みを進めてまいります。

本年度は、町民の皆様のご意見の反映や財政検討を行った上で、校舎設計を進めるための地質調査や測量調査を実施し、基本設計に着手することで、夢のある新しい学校の姿を形にしております。推進するにあたっては、町民の皆様に丁寧な説明を行い、納得感をもって進めていくとともに、本町の未来への投資として、持続可能な教育体制の構築に全力を尽くしてまいります。

また、老朽化が進む既存校舎や設備・教職員住宅につきましても、現場からの要望を真摯に受け止め、優先順位に基づき計画的な修繕・改修を実施することで、安全で持続可能な学びの場と教職員の良好な住環境を確保してまいります。

### 3 社会教育の推進:5つの柱

次に、社会教育について申し上げます。学校だけでなく、家庭・地域社会全体が「学びの場」となるよう、以下の5つの柱で推進します。

#### (1) 青少年の健全育成～地域で見守り、育む～

子どもたちの成長を、家庭・学校・地域が一体となって支えてまいります。

地域の魅力に触れる多様な体験活動の継続・充実により、豊かな人間性や社会性を育成します。

また、「創造の翼事業」については、修学旅行への支援を継続し、ふるさと厚沢部を見つめ直す機会を提供します。

さらに、家庭教育支援として「早寝早起き朝ごはん」運動を推進するとともに、親子参加型の取組を充実させ、家庭の教育力を地域全体でサポートしてまいります。

#### (2) 生涯学習基盤の強化～誰もが先生、誰もが生徒～

人生100年時代を見据え、いつでも誰でも学べる環境を整えます。

読書習慣の定着に向け、移動図書館バスの運行や学校図書室との連携を深めるとともに、読み聞かせボランティアの育成強化を図り、本に親しむ環境を

充実させます。

高齢者の方々に向けては、「幸齢者学級」などの活動を通じ、長年培われた知識や経験を活かして活躍できる場を提供し、生きがいづくりを支援してまいります。

### (3) 芸術文化活動の充実～心に潤いと感動を～

優れた芸術文化に触れ、自ら表現する喜びを広げます。

町民文化祭や各種文化団体の活動を引き続き支援し、町民の皆様が身近に文化芸術に親しめる機会を拡充いたします。

子どもたちに対しては、児童生徒芸術鑑賞会などを通じ、プロフェッショナルの技や表現に触れる「本物体験」を提供することで、豊かな感性を育ててまいります。

### (4) 生涯スポーツの振興～笑顔と健康の輪～

スポーツを通じて、健康増進と地域コミュニティの活性化を図ります。

町民のスポーツに対する意識高揚やスポーツに親しむきっかけづくりとして、「トップアスリートとの交流事業」を継続してまいります。

総合体育館やパークゴルフ場などのスポーツ施設については、適切な維持

管理と計画的な修繕・改修を行い、利用者が安全で快適に利用できる環境を整えます。

また、部活動の地域展開につきましては、子どもたちが将来にわたりスポーツや文化芸術活動に親しめるよう、国や北海道の方針に基づき地域の実情を考慮しつつ、受け皿となる地域団体の整備や指導者の確保について、関係者の皆様と協議しながら段階的に進めてまいります。

#### (5) 文化財の保存・整備～郷土の宝を未来へ～

厚沢部の歴史遺産を守り、学びと観光に活かします。

国指定史跡である「館城跡」の保存整備事業を計画的に進めるとともに、子どもたちの歴史学習の場として、また町の観光資源として有効活用を図ります。本年度は、現地工事の初年度として「地形復元工事」や、景観を整える「修景事業」に着手します。

あわせて、「鹿子舞」をはじめとする地域に伝わる伝統芸能につきましても、保存会の活動を支援し、小中学校での体験学習等を通じて次世代への継承を促進してまいります。

## 4 むすびに

「教育」とは、種をまき、水をやり、長い時間をかけて花を咲かせる営みです。すぐに結果が見えなくても、今、子どもたちに注いだ愛情と、整えた環境は、必ずや数年後、数十年後の厚沢部町を支える力となります。

「厚沢部で育ってよかった」「厚沢部で子育てしたい」

そう思える町を目指し、教育委員会は現場の声に耳を傾け、町民の皆様と手を携えて、誠心誠意取り組んでまいります。

町民の皆様、町議会議員の皆様の、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 令和8年度 教育行政執行方針 用語解説

本方針の中で使用されている主要な用語について解説いたします。

### 【学校教育・学習に関する用語】

#### ○ウェルビーイング (Well-being)

心身ともに健康で、社会的にも満たされ、自分らしく幸福に生きられる状態のことです。本方針では、子どもだけでなく、教職員や地域の方々も幸福であることを教育の土台としています。

#### ○個別最適な学び

すべての子どもに同じ内容を同じペースで教えるのではなく、一人ひとりの理解度や興味・関心に合わせて、学習内容や進度を調整する学び方のことです。

#### ○スタディ・ログ (学習履歴)

パソコンやタブレット端末を使った学習を通じて蓄積される、「どこでつまづいたか」「どのくらい時間をかけたか」といった日々の学習記録データのことです。

#### ○厚沢部型探究学習 (PBL)

「PBL」は課題解決型学習のことです。厚沢部町では、メイクインや豊かな自然など、地域の身近な課題をテーマに、自ら問いを立て、解決策を考える学びを推進しています。

#### ○STEAM (スティーム) 教育

科学 (Science)、技術 (Technology)、工学 (Engineering)、芸術・教養 (Arts)、数学 (Mathematics) の5つの頭文字を合わせた言葉です。これらをバラバラに学ぶのではなく、統合して学ぶことで、現実世界の複雑な課題を解決する力を養います。

#### ○SEL (社会性と情動の学習)

自分の感情を理解してコントロールする力や、他者への思いやり、より良い人間関係を築くためのスキルを身につける学習のことです。

## 【学校運営・教職員に関する用語】

### ○アンコンシャス・バイアス

自分自身では気づいていない「無意識の思い込み」や「偏見」のことで、「男の子だから」「先生だから」といった無意識の決めつけに気づくことで、より一人ひとりを尊重した指導を目指します。

### ○校務 DX（デジタルトランスフォーメーション）

デジタル技術を活用して、学校の事務作業や連絡業務を効率化することで、これにより教職員の負担を減らし、子どもたちと向き合う時間を確保します。

### ○チーム学校

教職員だけでなく、スクールカウンセラーや地域の専門家などがそれぞれの強みを活かし、組織として一丸となって子どもたちを支える体制のことで、す。

## 【その他】

### ○幼保小の架け橋プログラム

こども園等での「遊びを通じた学び」から、小学校での「教科学習」へ、子どもたちがスムーズに移行できるよう、園と学校が連携して教育内容を工夫する取組です。

### ○インクルーシブ（な心）

「包摂的（ほうせつてき）」とも訳されます。障害の有無や国籍、文化の違いなどを超えて、多様な背景を持つ人々が互いに認め合い、共に支え合って生きていく考え方のことです。



厚沢部町

令和8年度（2026年度）

# 厚沢部町教育行政執行方針



教育行政執行方針DL



## 学校教育

心豊かに学び、厚沢部町の未来を拓く人を育む

### 確かな学力の育成

～「文房具」としてのICTと探究～

AIドリル・学習履歴の活用  
子どもの理解度やペースにあわせた「自由進度学習」  
「個別最適な学び」の定着  
発展的学習機会の提供・学習進度の弾力的運用  
「厚沢部型探究学習」、STEAM教育

**まなびを自分でつかむ力**

確かな学力・ICT・探究学習

### 豊かな人間性と健やかな体の育成

～受容と承認、そして健康～

「受容と承認」のアプローチの全校展開  
SCと連携したメンタルヘルス対策  
アンコンシャス・バイアス研修  
「いじめが起きにくい」学級風土づくり  
道徳教育・SEL教育・教育相談の充実  
小学生留学、地場産給食、農作業体験学習

**もっと自分を好きになる心**

豊かな人間性・受容と承認

### 信頼される学校づくり

～働き方改革とチーム学校～

クラウド型校務支援システムのフル活用  
ペーパーレス化、会議の精選の推進  
「教職員のための生徒指導ガイドライン」の周知徹底  
学校運営協議会を核とした「地域と共にある学校作り」  
組織的サポートによる教職員の時間外勤務縮減  
子どもと向き合う時間の補償

**るいを支え合うチーム力**

信頼される学校・働き方改革

### グローバル社会に対応した教育

～世界とつながる厚沢部～

ALTの指導の充実、双方向コミュニケーション  
「生きた英語力」を育む環境整備  
地域産業・自然環境学習 企業連携体験学習  
日本語指導が必要な児童生徒の支援 異文化理解

**ひろかれた世界とつながる力**

グローバル教育・多文化共生

### 教育環境の整備・充実

～安全で持続可能な学びの場～

こども園と小学校の架け橋プログラムの推進  
幼児期と小学校の学びの連続性の確保  
9年間の連続した教育カリキュラム開発  
夢のある新しい学校の姿の具現化  
既存校舎・教員住宅の計画的な修繕・改修

**とくべつな学びの環境**

教育環境整備・義務教育学校



## 社会教育

地域に学び、地域を愛する力を育て、地域力の基礎をつくる

### 青少年の健全育成

～地域で見守り、育む～

地域の魅力に触れる体験活動、創造の翼事業の継続・充実  
「早寝早起き朝ごはん」運動の推進、相談体制の充実

**ささえ育む青少年**

創造の翼・地域の見守り

### 生涯学習基盤の強化

～誰もが先生、誰もが生徒～

読み聞かせボランティアの育成強化、読書活動の充実  
高齢者学級等を通じて知識や経験を活かせる場の提供

**ともに高める生涯学習**

読書活動充実・昔遊び体験

### 芸術文化活動の充実

～心に潤いと感動を～

町民文化祭・各種文化団体の支援の継続  
文化芸術体験の拡充、児童生徒芸術鑑賞会の提供

**ぶんか芸術で心豊かに**

町民文化祭・芸術体験

### 生涯スポーツの振興

～笑顔と健康の輪～

トップアスリートとの交流事業、部活動の地域展開  
スポーツ施設の適切な維持管理と修繕・改修

**なかまと楽しむ健康づくり**

部活動地域展開・体育施設

### 文化財の保存・整備

～郷土の宝を未来へ～

「館城跡」の保存整備事業推進と学習・観光での有効活用  
「鹿子舞」をはじめとする伝統芸能の支援・次世代伝承

**まもり継ぐ郷土の宝**

館城跡・鹿子舞継承



## 第8次厚沢部町教育推進中期計画

### 厚沢部町教育目標

**みんなが  
いきいき  
暮らすまち**

### 基本目標

- 一、町民が生涯にわたって学び、楽しみ、高められるよう環境を整えていきます
- 一、次代を担う子どもたちの個性を伸ばし、健やかに育つよう努めていきます
- 一、誰もが仲間と共に文化、スポーツを楽しめるよう環境・体制を整えていきます
- 一、町民同士が共に理解し、触れ合える社会の形成に努めていきます